

本件は東京都と同時発表しています。

練馬高野台駅～石神井公園駅付近が高架化されます。

- ・ 石神井公園駅では上り線に続き、下り線も高架ホームになります。
- ・ 当区間にある6カ所の踏切が解消されます。

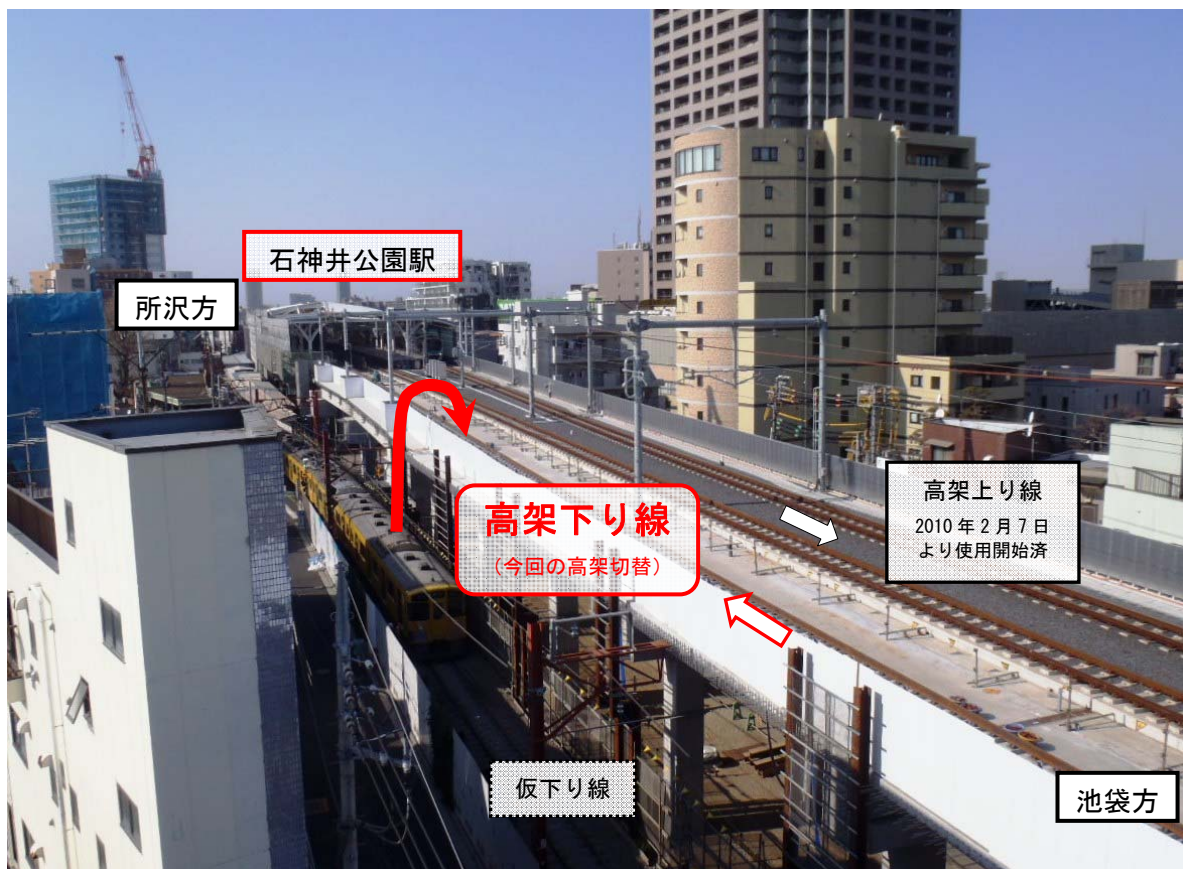
西武鉄道株式会社（本社：埼玉県所沢市、社長：白山 進）と東京都では、道路ネットワークの形成を促進するため、池袋線連続立体交差事業を進めています。このたび事業の進捗に伴い、2011年4月16日（土）終電車後～4月17日（日）初電車前に練馬高野台駅～石神井公園駅付近（Ⅰ期区間）の下り線を高架に切り替える工事を実施します。

この工事により、4月17日（日）初電車から石神井公園駅乗降ホームが上り線に続き、下り線も高架ホームに切り替わります。

また、この区間にある6カ所の踏切がすべてなくなり、富士街道などの踏切による交通渋滞が解消されます。

引き続き、この区間では、複々線化工事や側道の整備を進めてまいります。また、石神井公園駅付近～大泉学園駅間（Ⅱ期区間）についても、早期の高架化に向け、事業を進めてまいります。

当社では、踏切での交通渋滞の解消、鉄道により分断されている街の一体化やお客さまの利便性向上などを図るため、連続立体交差事業の推進に積極的に取り組んでまいります。



～石神井公園駅付近～

1 切替予定日等

(1) 切替工事予定日時

2011年4月16日(土) 終電車後 ~ 4月17日(日) 初電車前

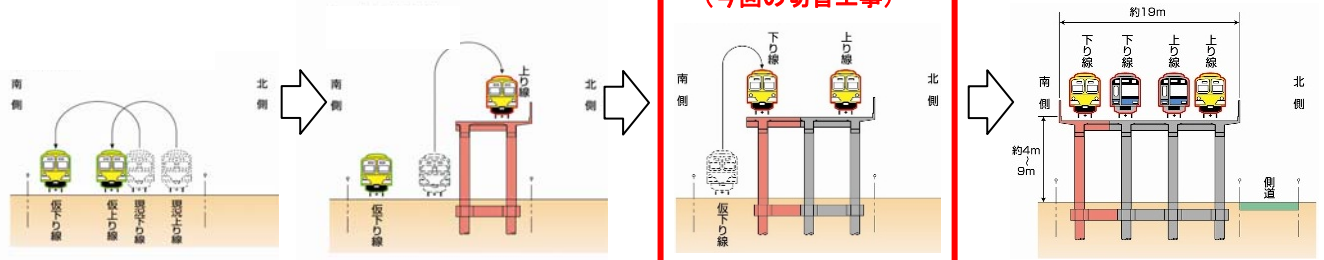
(2) 事業の施行手順

1. 仮線化
(2008年9月完了)

2. 上り線高架切替
(2010年2月完了)

3. 下り線高架切替
(今回の切替工事)

4. 複々線化、側道整備
(工事完了)

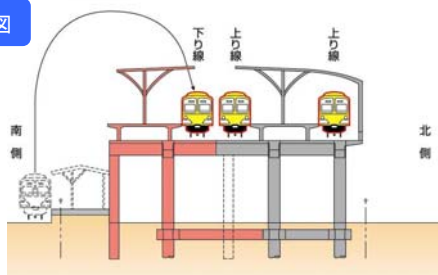


(3) 今回除去される踏切 (※添付別紙 西武池袋線連続立体交差事業 概要図 参照)

踏切道名	道路名
富士見台第9号踏切道	区道21-129号線
富士見台第10号踏切道	区道21-136号線
富士見台第11号踏切道	区道31号線(補助132号線)
石神井公園第1号踏切道	都道千代田練馬田無線(富士街道)
石神井公園第2号踏切道	区道21-155号線
石神井公園第3号踏切道	区道33号線

(4) 石神井公園駅 (ホーム断面図)

駅部断面図



【新設される下りホーム設備】

- ・ホーム長 210m
- ・エレベーター 1基(22人乗り)
- ・エスカレーター 2基(昇り・下り)
- ・ホーム待合室 1カ所(冷暖房完備)

※ 改札の位置変更とともにお客様の導線が一部変更となります。使用開始にあたっては石神井公園駅貼りポスター等により別途ご案内いたします。

(5) 西武池袋線連続立体交差事業 概要図 (別紙参照)

2 事業の概要

- (1) 事業名 西武池袋線（練馬高野台駅～大泉学園駅間）連続立体交差事業
- (2) 事業者 東京都
- (3) 事業延長 約2.4km（Ⅰ期区間：約1.2km、Ⅱ期区間：約1.2km）
- (4) 解消される踏切 9カ所（Ⅰ期区間：6カ所、Ⅱ期区間：3カ所）
- (5) 事業費 約474億円（複々線化事業を含む総事業費）
（負担内訳 国、都及び練馬区：約285億円、
西武鉄道：約189億円）
- (6) 事業期間 2007年度～2014年度

池袋線の高架化について

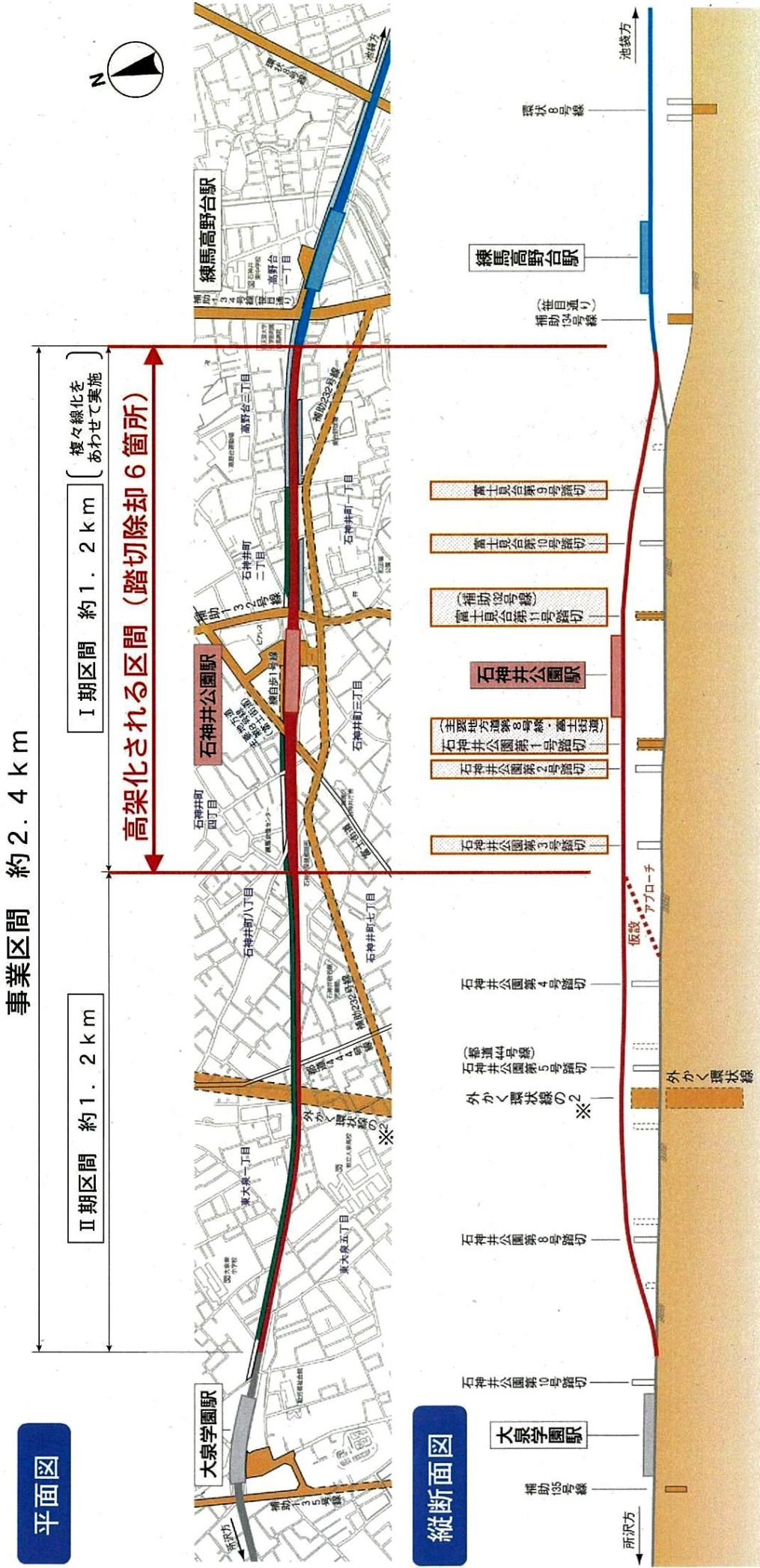
池袋線の高架複々線化工事については、1971年の都市計画決定以来、東京都、練馬区などと協力して工事を進め、2003年3月に、桜台（新桜台）～練馬高野台間が完成しました。

石神井公園駅付近については、2003年4月、国から連続立体交差事業の新規着工の採択を受け、2005年6月、大泉学園駅付近まで高架化を延伸する都市計画が決定されました。その後、関係機関との手続きを進め、2007年8月に工事を着手しました。

この事業が完成すると、線路の高架化により合計9カ所の踏切がなくなり、踏切事故や交通渋滞の解消が図れます。また、石神井公園駅においてはホーム2面、線路4線化されたホームとなり、上り・下りホームそれぞれで急行電車と普通電車の待ち合わせができるようになり、お客さまの利便性が向上します。

以上

西武池袋線（練馬高野台駅～大泉学園駅間）連続立体交差事業 概要図



連続立体交差事業は、「東京都が事業主体」となり、「道路の整備」の一環として施行する都市計画事業です。